

肝細胞癌術後早期再発の予測因子の検討

以下の研究について、本学で実施しておりますのでお知らせいたします。
研究に関する問い合わせ等がありましたら、以下の連絡先にご連絡ください。

研究課題名	肝細胞癌術後早期再発の予測因子の検討
倫理審査 受付番号	第3332号
研究期間	2019年 9月倫理審査承認日～2024年10月31日
研究対象情報 の取得期間	下記の期間に当院 肝・胆・膵外科を受診され、肝細胞癌に対して初回肝切除を受けた方 2007年 1月 1日～2016年12月31日
研究に用いる 試料・情報	カルテ情報
研究概要	<p>(研究目的、意義)</p> <p>肝細胞癌術後の早期再発はしばしばみられます。早期再発と晩期再発の境界時期と早期再発の予測因子についてさまざまな報告があります。</p> <p><目的></p> <p>当科での肝細胞癌患者において、</p> <ol style="list-style-type: none">①術後早期再発と晩期再発の時期の境界時期を検討します。②早期再発の予測因子を術前因子、術後因子に分けて検討します。 <p><意義></p>

早期再発の予測因子を検討することで、術後follow upをより厳重にすることができ、また術後補助療法を検討することができ、生存率の改善につながり意義があります。

(研究の方法)

当科で2007年1月1日から2016年12月31日までに肝細胞癌に対して術前治療を受けていない初回肝切除を受けた患者441人が対象です。

①術後早期再発と晚期再発の時期の境界時期を検討します。

②早期再発の予測因子を術前因子、術後因子に分けて検討します。

<検討項目>

患者背景因子：年齢、性別、アルコール飲酒歴、HBV陽性の有無、HCV陽性の有無、performance states、肝予備能など

<腫瘍因子>

腫瘍径、腫瘍個数、肉眼形態、脈管浸潤の有無、組織分化度、腫瘍マーカーなど

<手術因子>

手術術式、手術時間、出血量、輸血の有無など

(個人情報取扱い)

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（2015年4月施行）」に従って本研究を実施し、被験者の人権、福祉および安全を最大限に確保します。本研究に際して得られた個人情報等、患者さんのプライバシーは外部に漏洩しないよう配慮します。論文発表時には、個人が特定されないように配慮し記載します。

**本研究に関する
連絡先**

兵庫医科大学病院 肝・胆・膵外科
中村 育夫（実務責任者）

TEL |（平日 9：00～17：00） 0798-45-6582
（上記時間以外） 0798-45-6583

本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、上記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。